

イザベラ・バードの見た日本人【理事長コラム】

明治11年に一人で東北を探訪した英国人女性イザベラ・バードは、日本人について小柄で、弱弱しく、貧相な人々と表現している。

この印象は2000年前の魏志倭人伝に出てくる中国人から見た日本人とそっくりで、倭人という名称は、同じく小柄で醜い人々という意味である。

しかし、イザベラ女史は最後に、「このような貧困で不潔な国民ではあるが、いつも笑顔を決やさず、倫理観や結束が強い国民である。」とも言っている。このような特徴が2000年も続いていることは、日本人の誇りとしても良いのではないかと。



理事長 田中 誠

あい寿の丘、ひだまり、みなみ苑のご家族の皆さまへお知らせ致します。 **ご家族の皆さまへのお知らせ**

12月より面会を制限させていただいております。緊急事態宣言の期間が2月7日より3月7日まで延長したことにより、面会についても感染予防のため、継続して制限させていただきます。何卒ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

また、リモート面会も行っております。ご希望のご家族はあい寿の丘までご連絡ください。

令和2年度のお茶会につきまして、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、恐れ入りますが昨年同様にご家族・来賓の方のご招待を遠慮させていただき、ご利用者だけでお茶会を開かせていただく予定となりましたので、よろしくお願い致します。 **お茶会についてのお知らせ**

●南知多町デイサービスセンターで鬼倒しゲームを行いました



今年はコロナ禍の為、玉入れの玉から新聞紙の玉に変更しました。勿論手袋をして玉作りを行い、使った玉は廃棄処分にしました。また、大きな鬼では倒せない為、ご利用者に色画用紙に鬼を描いて頂き、その絵をペットボトルに貼り付けて軽めの鬼を作りました。

皆さんはいつもの穏やかな姿とは想像ができない程の大きな声で「鬼は外・福は内」と鬼に玉を投げていました。鬼を倒すと「今年は良い年になりそうだ」と笑顔いっぱいでした。これで、コロナも収まって頂きたいものです。

あい寿の丘 ほっかほか

ふれあいホットニュース

2021年2月 節分号



節分行事を楽しみました



2月2日は節分でした。施設の中でご利用者が鬼のお面を作り、それをつけて鬼に扮した職員めがけて豆をまいたり、鬼の置物を叩いて退治したりと、思い思いの節分行事を行いました。

豆を撒きながら大きな声で「鬼は外～・コロナも外～福は内～」と、今年ならではの掛け声をされている方もいました。

今年一年を良い年で過ごせるように、鬼と一緒に新型コロナウイルスも払えると良いですね。

新年会を楽しみました



みなみ苑で新年会を開催しました

例年ですと、家族懇親会で皆さんと楽しいひと時を過ごしましたが、今年はコロナ禍でご家族との会食はできません。

そこで「少しでも楽しい時間を過ごしていただきたい」と思い、今年のご利用者だけで新年会を開催致しました。



当日は、福笑いをして大笑い。ビンゴゲームで景品を手にして、皆さんは大満足です。

昼食は、海鮮チラシ寿司、ピザでお腹が満腹。あっという間に時間が過ぎました。

ご利用者には大変喜んでいただき、新年会ができて良かったです。



ひだまりではおみくじを楽しみました

今は外出が難しいですが、少しでもお正月の雰囲気を感じていただこうと、新年会でおみくじを用意しました。

大吉を引いて大喜びのご利用者や、お抹茶やお饅頭を味わいながら、おみくじに書かれたこととお互い読みあったりと、それぞれのユニットで楽しまれていました。



みなみ苑の1月のおやつは新年らしくお抹茶とイチゴ大福



甘くて大きなイチゴ入り大福はとても好評でした。お抹茶は職員が点て、ご利用者から「泡の具合がいいよ」「美味しいお茶だね」と褒めていただきました。

●ひだまりで絵馬を作りました

「健康で過ごせますように」「美味しいごはんをたくさん食べたい」などなど、ご利用者の皆さんは、それぞれ今年のお願い事を書きました。

あるご利用者は、絵馬をお部屋の入口に飾り、それを見ながら願いが叶うと良いねと話されていました。



●みなみ苑のポストカード作り

今年は年始の挨拶で訪問者が居ない代わりにたくさんの年賀状が届きました。

ご利用者がそのお返しに、私達も年賀状が書きたいとおっしゃったので、顔写真付きで挨拶のポストカードをみんなで作りしました。

ご家族が面会に来てくれる時に見せたいので、早く来れないかなと待ち遠しいです。



●おしるこを味わいました

冬ならではの楽しみは、神社の境内や甘味処などで温かいおしるこをいただくことですよね。

今年は外出が出来ず、神社へ行けないので代りにあい寿の丘でおしるこを作りました。

すこし甘くして、皆さんでおいしく頂きました。



●南知多町デイサービスで書き始め

お正月と言えば「書初め」ですね。皆さん「書けない」と言いながらも「ここをもう少し伸ばした方が良かったかな」「良いのが書けた」と隣の方と見せ合いをしながら楽しまれていた様です。

出来上がった書初めは、着物地に貼り作品展にして飾りました。



●あい寿の丘で福笑いを行いました

午後のひと時に「お正月と言ったらこれだよ」と、福笑いで遊びました。目隠しをして、顔の輪郭を描いた台の上に目・鼻・口を置いていきます。

出来上がると、寒さも吹き飛ばす様な大爆笑で、にぎやかに過ごすことが出来ました。